

みずほCustomer Desk Report 2019/02/28号(As of 2019/02/27)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.58
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.55	1.1394	125.96	1.3260	0.7194
SYD-NY High	111.07	1.1404	126.34	1.3351	0.7200
SYD-NY Low	110.36	1.1363	125.55	1.3234	0.7128
NY 5:00 PM	110.99	1.1370	126.20	1.3311	0.7141
NY DOW	25,985.16	▲ 72.82	日本2年債	-0.1600	1.00bp
NASDAQ	7,554.51	5.21	日本10年債	-0.0300	0.00bp
S&P	2,792.38	▲ 1.52	米国2年債	2.4990	1.61bp
日経平均	21,556.51	107.12	米国5年債	2.4812	3.52bp
TOPIX	1,620.42	3.22	米国10年債	2.6852	4.86bp
シカゴ日経先物	21,575.00	50.00	独10年債	0.1470	3.05bp
ロンドンFT	7,107.20	▲ 43.92	英10年債	1.2720	6.70bp
DAX	11,487.33	▲ 53.46	豪10年債	2.0605	▲ 2.85bp
ハンセン指数	28,757.44	▲ 14.62	USDJPY 1M Vol	5.65	0.05%
上海総合	2,953.82	12.31	USDJPY 3M Vol	6.17	0.02%
NY金	1,321.20	▲ 7.30	USDJPY 6M Vol	6.79	0.01%
WTI	56.94	1.44	USDJPY 1M 25RR	-0.93	Yen Call Over
CRB指数	183.23	1.82	EURJPY 3M Vol	6.99	0.07%
ドルインデックス	96.14	0.14	EURJPY 6M Vol	7.64	0.06%

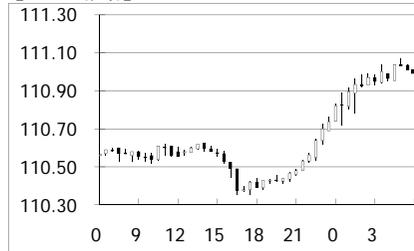
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月27日	19:00	欧 鉱工業信頼感指数	2月 -0.4	0.1
	19:00	欧 サービス業信頼感指数	2月 12.1	10.9
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・確報	12月 1.1%	0.4%
2月28日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	1月 4.6%	1.0%
	00:00	米 製造業受注(前月比)	12月 0.1%	0.6%

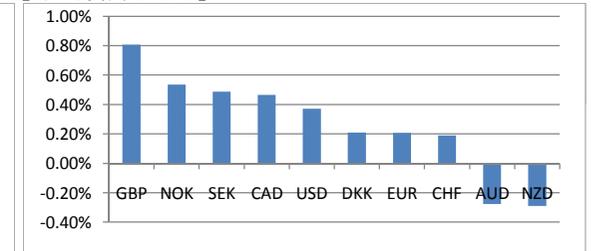
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月28日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	1月 -2.5%/1.3%	-0.1%/-1.9%
	10:00	中 非製造業PMI	2月 54.5	54.7
	10:00	中 製造業PMI	2月 49.5	49.5
	22:30	米 新規失業保険申請件数	23-Feb 220k	216k
	22:30	米 GDP(年率/前期比)・速報	4Q 2.2%	3.4%
	22:30	米 個人消費・速報	4Q 3.0%	3.5%
	22:30	米 COPCE(前期比)・速報	4Q 1.6%	1.6%
	-	米朝首脳会談(二日目)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.40-111.40	1.1330-1.1430	125.70-126.70

【マーケットインプレッション】

昨日、海外時間のドル円は軟化後に反発。欧州時間序盤、インド-パキスタン間の対立が緊迫化するなか、クロス円売りの流れにドル円は110.36まで下落。ただし、売り一巡後には、月末のリバランスフローに絡む米長期金利上昇につられる格好でドル円は反発。トランプ大統領から「今回の会談は昨年との会議と同様かそれ以上のものだった」と米朝首脳会談に関してポジティブなコメントが聞かれたこともサポート材料となり、ドル円は一時、111.07まで上昇した。本日のドル円相場は、方向感に乏しい展開を予想する。月末特有の本邦輸出企業の円買いフローも相応に入ることが見込まれる一方で、米中貿易摩擦、Brexit、米朝関係等への警戒感も足下、和らいでおりリスクセンチメントは悪くないことから、ドル円が緩んだところは拾われそうだ。

東京	東京時間のドル円は110.55レベルでスタートし動き薄く推移。東京時間午前には片岡日銀委員から「金融緩和を強化することが適当」との発言があるも市場の反応は限定的。新規材料に欠ける中、東京時間の日中値幅は10銭程度と極めて狭いレンジ内で推移し110.53レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.53レベルでオープン。朝方は、パキスタン-インド間の軍事的緊張が意識され110.36まで売られたが、その後は値を戻し110.57まで上昇。110.55レベルでNYに渡った。米ドルは、1.3238レベルでオープン。英国の合意なきEU離脱観測が後退する中、英保守党の離脱強硬派が首相離脱案に対し柔軟な姿勢を示したことが相場を後押し。1.3335まで買われ、1.3322レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外市場のドル円は110.50近辺の小幅なレンジで推移。「パキスタン軍がインド空軍機2機を撃墜」との報道にリスクオフの円買いが強まり110.36まで下落するが、その後値を戻し110.55レベルでNYオープン。朝方は米債利回りが上昇したことや、米1月中古住宅販売仮契約件数が予想を上回ったことを受けて、ドル買いが強まり110.89まで上昇する。その後、米下院歳入委員会の公聴会でトランプ-USTR代表が「中国による米国製品の購入を増やすだけでは、通商合意には不十分」と発言したことから110.72まで反落するが、米金利の上昇に加えて、米朝首脳会談成功への期待が高まったことによりサポートされ、111.03まで上昇。午後は米10年債利回りが2.70%台を試す展開となり、ドル円はじり高推移。111.07まで高値を更新し、110.99レベルでクロス。一方、フレグジット延期への期待感に上昇するボンドに連れ高となったことや、ハイマン独連銀総裁の「金融政策の正常化が基本シナリオである」との発言を受けて海外市場のユーロドルは1.1404まで上昇し、1.1383レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇を受けて1.1368まで下落。その後、トランプ-USTR代表の発言を受けてドル買いが巻き戻され、高値1.1395まで上昇するが、1.1400近辺では売り意欲も見られ、反落。午後は米金利上昇が続き、ドル買いが優勢な展開の中、1.1363まで反落。終盤は1.1370近辺で小動きとなり、1.1370レベルでクロス。本日、パウエル議長は米下院金融サービス委員会で議会証言を行ったが、前日に続き「金融政策について辛抱強いアプローチが必要である」と強調しており、目新しい発言はなかったことから反応は限定的だった。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:山本・綱島